

広報

my hometown TOMIOKA 2013

9

No.611

# とみおか



## 主な目次 Contents

宮本新町長就任 .....	02
富岡町復興まちづくり計画策定 .....	03
お知らせ .....	04~06
こんにちは。大玉仮設診療所です！ .....	07
とみおか桜通信 .....	08~13
富岡町小・中・高校生「再会の集い」 .....	14~15
とびっくす .....	18~20



# 新町長に宮本皓一氏が就任

7月21日に行われた富岡町長選挙の結果、元富岡町議会議長の宮本皓一氏が初当選し、昭和30年の合併以降第6代目となる富岡町長に就任しました。

宮本町長は8月6日、富岡町役場郡山事務所に初登庁し「更なる復旧・復興、住環境の整備にあたりながら、町民の生命・財産を守り、新生富岡町のために歩んで行く」と固い決意を述べました。



## 町民の生活再建と

### 希望の持てる町づくりのために全力を注ぐ

この度、7月21日執行の町長選挙におきまして、皆様の温かいご支援を賜り、富岡町長として町政をお預かりすることになりました。改めて御礼と感謝を申し上げます。

日を追う毎に責任の重大さで身の引き締まる思いであります。キャッチフレーズ通りの「新しい風」を意識しながら、誠心誠意努力してまいります。

さて、平成23年3月11日の東日本大震災及び原子力発電所事故から2年5カ月が経過する中、皆様が慣れない土地で、そして慣れない住宅での避難生活において、大変なご苦労をされている事を考えると、誠に心苦しく、辛い思いでいっぱいになります。

このような中、町の復旧・復興は待った無しの状況にあります。私は、除染作業、インフラ整備作業、災害公営住宅の整備など、町の再建に欠くことのできない事業はもちろんのこと、避難生活の環境整備や、心の復興のために必要な措置を講じてまいります。

さらに、本格的除染作業が始まることから、健康管理手帳による健康管理の一元化も現実のものにしていかねばなりません。また、役場庁舎に総合案内所を設置するなど、役場機能の充実を図り、皆様に寄り添った行政サービスの質の向上も考えてまいります。そして何より、皆様方の声が届く開かれた町政執行を心掛け、スピード感を持って対応し、希望の持てる富岡町づくりに邁進してまいります。

これらを実現するためには、町民の皆様お一人一人の思いを一つにすることが大切だと思っております。新しい富岡町づくりのために、皆様のご理解とご協力を切に願うものであります。

結びに、全町民の皆様の今後益々のご健勝、そして更なるご多幸を心よりご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

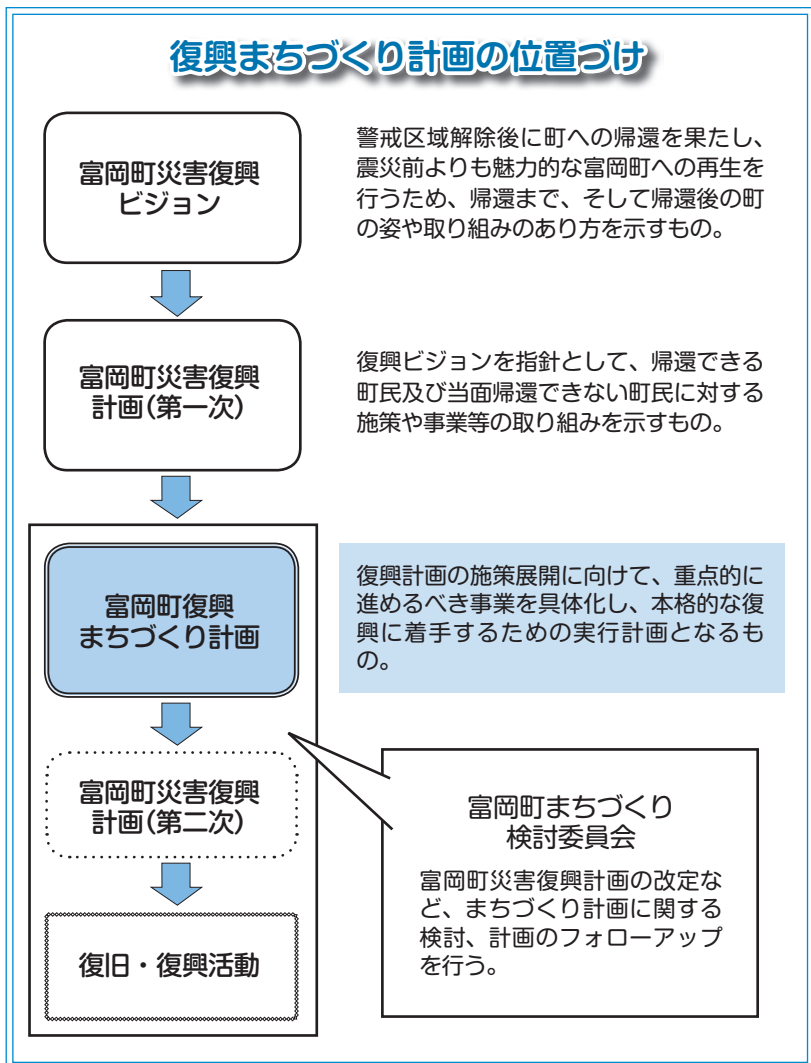
富岡町長 宮本 皓一

## 本格的復興に向けた重点事業の施策を展開

### 富岡町復興まちづくり計画策定へ

現在町では、本格的復興事業を展開するための「富岡町復興まちづくり計画」の策定に向けて調整を進めています。

復興まちづくり計画は、復興交付金の交付対象事業の一つとして位置づけられる「被災地における復興まちづくり総合支援事業」に基づき策定するもので、本町では「富岡町まちづくり検討委員会」を組織し、同計画による本格的な復興に取り組むための施策を行っています。



#### ◆復興まちづくり計画期間

本計画の計画期間は「富岡町災害復興計画(第一次)」に示される計画期間(復旧期/平成24～28年度、復興期/平成29～32年度)の踏襲を基本としています。

※復旧期/町外で町民が安心して生活できる環境を整備し、帰還可能な区域の整備に向けて除染や主要インフラの復旧、災害公営住宅などの整備を重点的に実施する期間。

※復興期/震災前の状態まで早急に回復させるための取り組みを継続的に推進し、創造的な復興に向けて計画的に取り組む期間。また、当面帰還できない町民に対して、町外での生活関連サービスの充実を図る期間。

#### ◆計画策定の体制

本計画は、富岡町まちづくり検討委員会が策定されます。同委員会は、重点的に議論すべき個別の課題検討のため次の3部会を組織し、それぞれの方面の協議結果を本計画に反映します。

- ・富岡駅周辺整備検討部会
- ・移設復旧予定のJR富岡駅周辺の再整備にあたり、導入すべき

#### 機能などを検討する。

- ・土地利用(防災集団移転)検討部会
- 津波被災集落の集団移転に際し、移転地にて確保すべき生活機能や導入すべき施設及び集落移転後のJR常磐線東側の土地利用を検討する。
- ・コミュニティ検討部会
- 富岡町内の低線量地区、いわき市郡山市などで検討中のコミュニティ(災害公営住宅を単位とする)について、コミュニティの維持・継続や確保すべき生活機能などを検討する。

#### ◆今後の復旧・復興に向けて

本町の復旧・復興を目指す上で山積みとなっている問題をクリアするには、町民の皆様のご意見がとて大切で。そのため町では、住民意向調査や地区懇談会などを実施し、いただいたご意見を富岡町まちづくり計画や同検討委員会での議論に反映させていただきたいと考えております。

富岡町再生に向けて、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



開催日	開催地区	開催場所
9月12日	三春町	葛尾村役場三春出張所
9月13日	いわき市	楢葉町役場いわき出張所
9月19日	二本松市	浪江町役場二本松事務所
9月20日	いわき市	双葉町役場いわき事務所
9月26日	郡山市	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所
9月27日	会津若松市	大熊町役場会津若松出張所産業建設課内

※時間は各会場とも10:00~15:00

**双葉農業普及所**  
からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さまに必要な情報(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)を分かりやすくご説明するため、毎月県内数カ所に、相談窓口を設置しています。最寄りの窓口にお気軽にお越しください。

**双葉農業普及所**  
☎0246-24-6044



**高齢者等快適住まい 助成事業**

身体の不自由な高齢者等が暮らしやすい生活が出来るように、住宅を改修するためにかかる費用を助成します。

▼対象者

富岡町に住所を有し、寝たきり又は身体の障害のために、日常生活を営む上で介助を要するおおむね60歳以上の高齢者等。

▼対象となる住宅

助成対象者が引き続き居住し、又は居住することになる住宅(借上げ住宅などの持ち家でない物件も住宅所有者の許可を得られれば改修できます)。

▼対象となる工事

手すり・スロープ等の設置や、段差の解消等で経費が10万円以上の工事。

▼助成金額

対象経費の2分の1の額で上限が20万円(介護保険等他の制度で給付される額は控除します)。

※工事前の申請が必要となりますので、事前にお問合わせください。

**健康福祉課 介護保険係**

**これからが繁殖期です 蜂にご注意ください**

一時帰宅等で富岡町内に立入の際は、蜂に刺されないよう十分お気をつけください。スズメ蜂などに刺されると、蜂毒アレルギー体質の方は死亡する例もあります。蜂に刺された場合は、自己判断をせずに医師の診断を受けてください。

蜂の巣の情報や駆除の相談等は、生活環境課まで連絡をお願いいたします。

**生活環境課**

**被災証明書再発行の請求方法が変わります**

町では、震災当日(平成23年3月11日)富岡町に居住していた方を対象に、同年6月1日付で被災証明書を交付しております。紛失や破損、またはやむを得ない事情により被災証明書の再発行を希望される場合は、富岡町役場郡山事務所住民課住民係で再発行をしておりますが、10月1日から次のとおり申請方法が変更となりますので、ご注意ください。

▶申請窓口

富岡町役場郡山事務所住民課、いわき支所、三春出張所、大玉出張所  
※郵便請求は富岡町役場郡山事務所のみ受付となります。

▶手数料 無料

▶請求できる方

・本人または同一世帯の方  
※代理人が申請する場合は、委任状が必要となります。

▶窓口での申請で必要なもの

- ①申請書(窓口へ備え付けてあります)
- ②請求者の本人確認ができる書類
  - ・写真付きの場合は1種類(免許証、住基カード、パスポートなど)
  - ・写真付きが無い場合は2種類(保険証と年金証書、保険証と年金手帳など)

▶郵便請求をする場合に必要なもの

- ①請求書  
(町ホームページ【災害版】申請書ダウンロードの「被災証明書の再発行について」から交付請求書がダウンロードできます。請求書の③必要な証明書類欄の中から「6.その他」を選択し被災証明書と記載してください。)  
※任意様式も可(右記参照)
- ②切手を貼った返信用封筒  
※必要な方の避難場所以外への送付はできません。
- ③請求者の本人確認ができる書類のコピー
  - ・写真付きの場合は1種類
  - ・写真付きが無い場合は2種類
- ④郵送先  
〒963-0201  
郡山市大槻町字西ノ宮48-1  
富岡町役場郡山事務所住民課住民係  
※電話、ファックス、電子メールによる申請はできません。

**郵便請求する際の任意様式記載例**

●被災証明書再発行申請

(請求者の名前)	富岡 太郎
(富岡町の住所)	富岡町大字本岡字王塚622-1
(生年月日)	昭和30年4月1日
(性別)	男
(電話番号)	0120-33-6466
(必要な方の名前)	富岡 太郎
(富岡町の住所)	富岡町大字本岡字王塚622-1
(生年月日)	昭和30年4月1日
(性別)	男
(避難場所)	郡山市大槻町字西ノ宮48-1
(必要な部数)	1部
(請求者との関係)	本人
(再発行理由)	紛失のため

住民課 住民係

**＜平成25年度総合検診の日程について＞**

総合検診を下記のとおり実施しますのでお知らせいたします。

5月に実施しました総合検診の意向調査にて、郡山地区・いわき地区を希望された方については、書類を8月末に送付しております。まだお手元に届いていない方や総合検診を希望される方は、下記問合わせ先までご連絡をお願いいたします。

※検診当日は、町から届いた書類(総合検診受診録・承諾書等)と「保険証」(40歳未満は不要)を忘れずに持参してください。

●国保以外の保険に加入している40歳以上の被扶養者の方

特定健診を受診する場合は、保険者が発行した「受診券」と「保険証」が必要になります。「受診券」と「保険証」をお持ちでない場合は、特定健診を受診することができませんのでご注意ください。がん検診は、保険証の種類に関係なく受けることができます。

※総合検診の受付は、借用する会場の都合上、ご案内の時間前に開始することができません。受付開始までお待ちいただくスペースもないため、時間前のご来場はご遠慮くださいますようお願いいたします。

<郡山地区>

実施月日	受付時間	実施場所(住所)
9月30日(月)	9:30~11:00	福島県農業総合センター(郡山市日和田町高倉字下中道116)
10月1日(火)	9:00~10:30	ビッグパレットふくしま Bホール(郡山市南2丁目52)
10月2日(水)		
10月3日(木)		
10月4日(金)		郡山市大槻ふれあいセンター(郡山市大槻町字中前田56-1)

<いわき地区>

実施月日	受付時間	実施場所(住所)
10月7日(月)	9:00~10:30	関船体育館(いわき市常磐関船町作田3)
10月8日(火)		
10月9日(水)		
10月10日(木)		

**大腸がん検診・肺がん検診を希望される方へ**

希望される方は、事前に検査容器を送付いたしますので、健康づくり係までご連絡をお願いいたします。大腸がん検診は「2日分の便」、肺がん検診は「3日分の痰」を容器に取り、検診日当日に持参していただきます。検診日以外での容器回収日は設けておりませんので、必ず検診日にご持参ください。

問合わせ先：国保の特定健診・後期高齢者の健診 住民課 国保年金係  
健康福祉課 健康づくり係



民間借上げ住宅を  
退去される方へ

民間借上げ住宅から移転し、住宅使用を終了する場合は、「仮設住宅等使用終了届」を提出していただくことになっております。

この届け出は、貸主の都合による退去や、移転先が個人契約の住居及び購入した住居などであっても、入居者全員が退去する場合は必ず提出して頂く書類です。

終了届の提出が遅れた場合、家賃等が継続して発生することになりますので、移転する方は退去日の1ヵ月から2週間前までに、仲介業者又は貸主より署名捺印を頂き、速やかに富岡町役場生活支援

課住宅支援係へ提出をお願いいたします。

また、入居者の一部の方が退去する場合は、変更契約書の提出が必要となります。 ※終了届、変更契約書は退去前の事前連絡、事前提出となります。用紙は富岡町役場、支所並びに各出張所で受け取りも可能です。

生活支援課 住宅支援係

10月1日から7日は  
「公正証書週間」です

公正証書は、公務員である公証人が大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与、定款や私文書などの認証や、国の公証に関する事務を取り扱う制度です。公正証

書に書かれている内容は、裁判その他の面で高い証拠力が与えられます。また、公正証書には「執行力」があり、金銭に関する契約で相手が約束に反した場合、裁判抜きで相手の財産に対し強制執行ができます。

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守る事ができます。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先  
☎0246-23-4066

お問い合わせ先

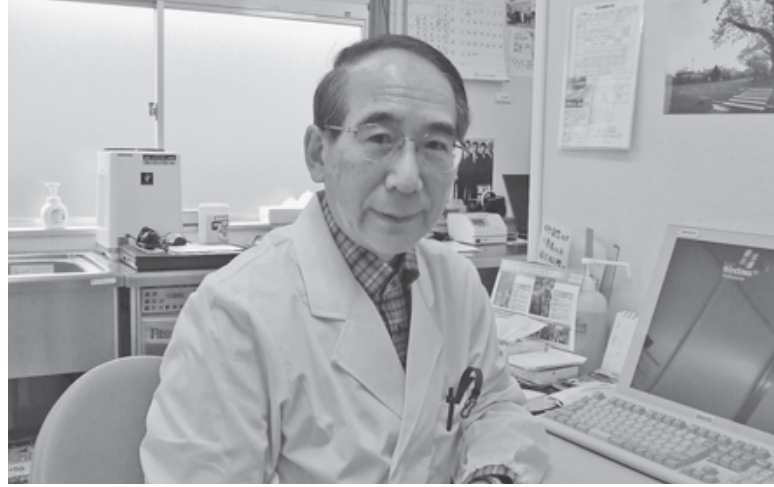
- 富岡町役場郡山事務所  
○富岡町議会事務局  
〒963-0201  
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5  
☎ 0120-33-6466  
FAX 024-961-3441
- 富岡町教育委員会  
〒963-8025  
福島県郡山市桑野2丁目1-1  
☎ 0120-33-6466  
FAX 024-953-6304
- 富岡町役場いわき支所  
〒970-8026  
福島県いわき市平字梅本15  
福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階  
☎ 0120-33-6466  
FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所  
〒963-7719  
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1  
☎ 0120-33-6466  
FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所  
〒969-1302  
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1  
☎ 0120-33-6466  
FAX 0243-48-1147
- ・大玉仮設診療所  
〒969-1302  
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10  
☎ 0243-48-4710  
FAX 0243-48-4710
- 財団法人富岡町体育協会  
〒963-8025  
福島県郡山市桑野2丁目1-1  
☎ 024-983-8570  
FAX 024-953-6304
- NPO法人さくらスポーツクラブ  
〒963-8025  
福島県郡山市桑野2丁目1-1  
☎ 024-983-5299  
FAX 024-983-5299
- 富岡町社会福祉協議会  
〒963-8041  
福島県郡山市富田町字若宮前32  
高齢者等サポート拠点施設内  
☎ 024-935-3345  
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター  
〒963-8041  
福島県郡山市富田町字若宮前32  
高齢者等サポート拠点施設内  
☎ 024-935-3332  
FAX 024-935-3334

私たちのお医者さん

こんにちは。  
大玉仮設診療所です！



第6回 「肥満と食事」  
井坂 晶 医師(富岡中央医院)



前

回は、メタボリックドミノのお話をしました。この大元は「肥満」でしたね。今回は、肥満にならない食生活についてお話をします。

体重を下げることは至難の業ですが、太るのは簡単です。よく、痩せる薬はありませんか？と聞かれます。ないことは無いのですが、それなりの副作用があります。出来るならばお金をかけず、日常の生活習慣を見直し、自分で「意識」していくことです。「意識を高めるには」毎日体重測定をし、記録することです。

太る原因、9か条

- ① 食べ過ぎ(成長期と同じ様に、飲み食いしない)。
  - ② 摂取カロリーが多い。
  - ③ 早食い、ながら食い、残飯整理、つまみ食い、纏め食いは肥満の元。
  - ④ 寝る前に食べる(少なくとも食後2時間はあける)。
  - ⑤ アルコール、お菓子、果物もカロリーが多い。
  - ⑥ 外食が多い。
  - ⑦ 宴会、付き合いが多い。
  - ⑧ 体質、遺伝にも注意。
  - ⑨ 運動不足。
- これらのうち3個以上あてはまる方は要注意。 ※食事は30分以上かけてよく噛んで(30回)、しっかりと味わいながら、楽

しんで食べるようにしましょう。 ※初めに、野菜サラダを十分噛んで食べ、酢の物、タンパク質、最後にご飯とみそ汁の順で食べるようにしましょう。

※食生活を見直し、出来るだけ規則正しい食習慣を作りましょう。 ※脂肪の多い食品、アルコールはカロリーが多く、高エネルギー、高脂血症の原因になります。 ※塩分は一日6グラム以下にしましょう。これらのことなどに注意してみてください。 和食の懐石料理が理に適っています。食事は大切です。食べ過ぎは万病の元、肥満から高脂血症、動脈硬化、高血圧、糖尿病、尿酸血症、心筋梗塞、脳梗塞など重大な病気に陥らないように、体重コントロールをすることが最も大切です。

ペットを飼っている方へのお知らせ

～9月20日から26日は動物愛護週間となっております～

- ・犬も猫も大切な家族の一員です。愛情と責任を持って飼いましょう。
- ・不幸な子犬や子猫を増やさないために、不妊・去勢手術を受けさせましょう。
- ・猫の「室内飼い」をすすめています。交通事故や病気から守りましょう。
- ・犬の登録と狂犬病予防注射を受けましょう。
- ・犬の放し飼いは止めましょう。人に噛みついたり、交通事故にあうかもしれません。
- ・きちんとしつけをしましょう。トラブルを防ぐだけでなく、災害時などに同行避難する場合にも重要です。
- ・保健福祉事務所では保護・収容された犬や猫を譲渡しています。責任を持って飼ってくださる方は、保健福祉事務所にご相談ください。

相双保健福祉事務所 衛生推進課 ☎0244-26-1351  
富岡町役場 生活環境課 ☎0120-33-6466

※○が10個以上ついた人は、かなり太りやすいので要注意！

食事チェックリスト (○が10個以上ついた人は、かなり太りやすいので要注意！)

1 出されたものは、必ず残さずに食べる。	2 食事をしながらテレビを見たり、新聞を読んだりする。	3 どちらかというとき早食い。	4 よる 1日2食になっている。	5 イライラすると食べてしまうことがある。
6 いただきものは、食べないともうしわけない。	7 夜型人間である。	8 食事が不規則になりやすい。	9 夕食を食べるのが、9時以降になることが多い。	10 つきあいとお酒を飲む機会が、週2回以上ある。
11 甘いものがやめられない。	12 野菜不足になっていると思う。	13 ご飯は、ごく軽く1杯しか食べない。	14 1週間に3回以上、フライやてんぷらなど、揚げ物を食べる。	15 1日に1回以上、外食する。

診療日

曜日	診療科目	担当医師	備考
月	内科・外科	佐藤正憲	午後3時まで
火	歯科	新妻 学	
水	歯科	新妻 学	
木	内科・外科	井坂 晶	
金	内科	堀川章仁	

☎ 0243-48-4710



猪狩 浩さん (清水)  
TOMIOKA 桜(さくら)通信

# TOMIOKA

## 桜通信

第17号

東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



写真左は妻・みか子さん

私の自宅がある清水行政区には約300世帯ありましたが、現在はいわき市、郡山市を中心に、県内外で避難生活を送られています。今年の3月にいわき市内で開催した行政区の総会には、50名以上の皆さんに出席いただき、久しぶりの再会となりました。

長(当時)とともに各班長宅へ広報紙などを配る予定でしたが、地震発生により、その連絡も来ないままとなっていました。また、何度も妻に連絡を入れましたが、電話はつながりませんでした。

翌朝、上空のヘリコプターの音にただ事ではないと感じ、地区の集会場に向かってみると、すでに50人ほどの方々が集まっており、避難バスを待っているというのでした。そこで初めて避難指示を知り、民生委員だった私は一人暮らしのお年寄りなどの世帯を回り、全員の避難を確認したあと荷物をまとめ、午前10時過ぎに車で避難を始めました。しかし川内村方面には進める状態でなかったため、国道288号線を西へ進み、その日は田村市の船引体育館に身を寄せました。妻とはその日のうちに連絡がつき、桑折町に住む義母とともに無事であることがわかったため、私も翌日そちらへ向かい、今日に至っています。

こちらでの生活が始まって2年半になろうとしています。被災前から、当町に住む義母や長女一家のもとを頻りに訪ね、近所の皆さんとも



まちの思い出

まちの思い出



交流があったため、孤独感のようなものはありませんが望郷の念が消えることももちろんありません。現在は、共働きの長女夫婦が忙しくて子ども(孫)にかまってくれない分の面倒を見たり、地域の皆さんと登校時の交通誘導などを行ったりしています。また、昨年の1月に義母が亡くなりましたが、妻とともに最期を見送ることができました。

避難区域の再編後、富岡の自宅に度々一時帰宅して掃除や屋根の修理を行っています。これ以上被害が拡大することは無いと思いますが、庭に眼をやると、丹念に手入れを続けてきた自慢の五葉松が枯れており、私の年齢とほとんど変わらない樹齢で愛着があったために残念でなりません。

元通りの帰還は困難だとは思いますが、夫婦で孫の成長を楽しみに、マイペースな老後を送る日々です。

清水行政区長、富岡町民生委員。現在、妻とともに妻の実家で生活している。隣地には、長女一家の自宅があり、日頃、お互いに行き来しながら暮らしている。



堀本 博行さん (新町)  
TOMIOKA 桜(さくら) 通信



震災発生当日、私は双葉町内の建築現場におりました。その日は夕方から通院の予定があったため、普段より早く作業を切り上げて片付けをしていたところ、地震に襲われました。揺れが一段落したあと現場を出て自宅に向かいましたが、通常であれば30分かからない道のりを、約1時間かかって帰宅しました。翌朝、避難指示が出たものの、大勢が一斉に避難し道路が渋滞するなど混乱していたため、自宅にとどまって様子を見ていました。し

かし、同日午後には原発が爆発したため、風向きに注意しながらその夜8時過ぎ、妻や同居していた長男とともに、郡山市内に住む長女のもとを目指しました。一人暮らしの狭いところに3人で押しかけたしまいました。長男は間もなく同市内にアパートを借りて暮らし始めました。私たち夫婦も早く生活拠点を確保しようと思いい、同年5月に物件は見つけましたが、家電製品などが届かなかったため、生活できるようなったのは6月になってからでした。避難してから警戒区域が設定されるまでの間に、被災のため双葉町内の現場に置いてきた道具類や、自宅に置いてきた貴重品など、必要最小限の物を持ち出すことができましたが、脚立や足場など、かさばる物はそう簡単に置ける場所がありません。そんな折り、街中で「レンタル物置(小さな貸倉庫)」の看板を見て早速申込み、仕事道具の一部を預け入れました。しかし全て入りきれないため、借上げ住宅のベランダや部屋の中にも置いている窮屈な状態です。富岡町で生活していた頃には、

よほどのことがない限り仕事道具や資材などの置き場所に困ることはありませんでした。その後、一昨年5月頃から、同業者や関連業者仲間から仕事を紹介されるようになり、現在は郡山地区をはじめ県内各地で、材料メーカーから依頼された壁紙やクロスなどの施工などの仕事をさせていただいています。原発事故による避難のため、私を含め、全町民がバラバラの生活を送っています。富岡には多くのスポーツサークルやチームがあり、私自身もバレーボールを楽しんでいます。また、大会や練習の世話など、スポーツ推進員として多くの皆さんとコミュニケーションがあります。また再開しようかとは思いますが、仕事と違い、自身が感じる以上に体に負担をかけ思わぬケガにつながりやすいので、思い切つてとまでには至っていません。内装業の傍ら、新町行政区のスポーツ推進員を務めていた。各種スポーツ大会やチームの世話役が主だったが、自身もバレーボールなどで活躍していた。

横田 亜沙子さん (王塚)  
TOMIOKA 桜(さくら) 通信



震災前、私は富岡町体育協会で臨時職員として働いており、一昨年3月11日は勤務のため富岡町総合スポーツセンターにいました。地震発生後は、総合体育館などを避難所として設営するため作業に当たり、その夜は夜の森に住む祖父母が心配だったため、父とともに祖父母宅で過ごしました。翌朝、警察車両が避難を呼びかけたため車2台に分乗して川内村に向かい避難所に入りましたが、

介護が必要な祖母のことを考え、その日のうちに同村を離れました。その後、福島・新潟両県内の宿泊施設などを経て、同年4月中旬に私はビッグパレットふくしまへ移り、家族はいわき市内のアパートに入居しました。東京に住んでいた兄は3月中旬に帰郷する予定でしたが、富岡町は避難指示が出され帰ることができません。そこで、5月から郡山市内にアパートを借りて兄と生活するようにになり、その秋に、父と祖父母や多くの友人たちが住むいわき市内へと移りました。私は高校卒業後、東京の短大に進学しましたが、被災直後は短大の同級生など友人たちが心配し、メールや電話などで多くの励ましをいただきました。中には放射能の影響を心配して、東京をはじめとした各地での生活拠点の提供を申し出てくれる友人もいました。また、ビッグパレットまで支援物資を持って訪ねてくれた友人もあり、今も感謝の気持ちでいっぱいです。富岡町は東京から数時間で来

れる手軽さもあり、短大の頃から友人たちが私の実家に何度も遊びに来ていました。避難指示区域の見直し後、友人たちに故郷の姿を見てもらうため、一緒に富岡町へ行ったことがあります。富岡駅や富岡海水浴場を見た友人たちは、かつての風景が失われてしまったことに言葉を失い、また、地震の被害がそのままになっている街並みに茫然とした様子でした。いわきに移ってからは、いわき市平体育館でスタッフとして働いています。いわきには富岡町民が多く、震災前まで富岡で行っていたスポーツを再開される方も多いようで、来館時に久しぶりの再会となることもしばしばあります。富岡にいた時のようにはいなくなるとも、そんな皆さんの姿に私も笑顔になります。短大卒業後帰郷し、富岡町体育協会で臨時職員として勤務していた。現在は震災前まで同居していた家族からは独立して生活している。





私は看護師として、浪江町内のデイサービスセンターに勤務していました。地震発生当時は勤務中で、利用者がいましたが全員無事でした。地震の揺れが落ち着いてきたため、利用者を帰宅させる準備をしていたところ、請戸地区が津波で壊滅してしまつたという情報が入ってきました。そうした中、南相馬市小高区から通勤している同僚を私の車で自宅まで送ることになりました。いつもは国道6号線を通りますが、その同僚が「旧国道で…」と言つたた

めルートを変更し市街地に入ったところ、小高駅前まで津波が押し寄せており、同僚の一言に命拾いさせられました。その後、勤務先に帰り帰宅しようとしたが、道路状況が悪いため夜まで利用者の家族への引き渡しを行い、その夜は勤務先に泊まりました。翌朝、迎えに来た家族とともに避難となり、県内外の避難所や親類宅などにお世話になりました。一昨年4月からいわき市内の借上げ住宅で生活しています。

私は震災前から、編み物やパンフラー作りなどの手芸を趣味としていました。それらの趣味に手を掛けながら時間を過ごしてましたが、泉玉露交流サロンのスタッフ募集に応募し、今年の7月からこちらでお世話になっていきます。

このサロンには6人のスタッフがおり、皆さんの希望を聞きながら、他のサロン同様、毎月催し物や講座等の予定を立てて運営しています。一方、徒歩圏内に仮設住宅があるなど、他のサロンとは少し違った立地条件があり、借上げ住宅と仮設住宅の両方から皆さんが訪れます。そう

手芸作業の様子



高野美江子さん

〒979-10201  
いわき市泉玉露4丁目1-11  
電話 0246(38)4242  
(開館時間)  
午前10時～午後5時  
(定休日)  
原則として第3月曜日

いう環境を生かし気軽に立ち寄っていただけるよう「気配り・目配り・心配り」をモットーに、スタッフが一つになつて皆さんのお越しをお待ちしています。



原発事故による避難を強いられるまで、2人の息子は町内でIT企業を立ち上げ仕事をしていました。多くの若者が進学で一度町を離れると戻って来ない時代に、都会で専門教育を受け、職務経験を携え故郷に戻り、いよいよ会社も軌道に乗るという矢先の災難となりました。

地震発生の際、警察が呼びかけた避難指示を耳にして、情報が満足に無いまま避難を始めました。県内数ヶ所の避難所を経て東京方面を目指し、当初、被害者である自分たちが満足

な支援を受けられないなど絶望したこともありました。一昨年4月末、現在生活している東雲国家公務員住宅に入居することができました。

この住宅には約千人の避難者が生活していますが、互いに避難者なのか、それとも本来の入居者(公務員)なのかも分らず、会つても挨拶すら交わすことはありませんでした。そうした中、心身の不調や不安を訴える人が増加し、孤独死も発生してしまつた現状を改善すべく、避難者の受け入れを行っている東京都の後押しにより、強制力や義務はないものの、自治体に準じた交流組織を設立することになりました。都や江東区、同区社協等のご支援を受け、一昨年9月に「東雲の会」を発足させ、私は副会長を預からせていただいています。

当会では、避難者同士の交流や各種支援の受け入れ・調整などを行い、役員等も全て避難者自らがボランティアで行っています。中でも、広報委員による周知・広報活動として「東雲の会」の発行、週2回のサロンの運営、日頃お世話になって

いる江東区の皆さんへのささやかな恩返しとしての住宅周囲の清掃活動など、皆さんに参加していただきながら、定期的な活動をするようにもなりました。

一方、時間の経過とともに、出身市町村ごとの連絡や活動の必要性も生じるようになりました。例えば、富岡町が町民向けに発行している各種配布物や、当町民が対象となる行政サービスや支援活動などに関わることで、実際、過去に出身地以外の自治体からの配布物をめぐりトラブルが発生したこともあったため、一種の「分会」のようななかたちで、この春に「東雲富岡の会」を発足しました。これも、東雲の会同様、強制や義務を伴わない任意交流組織で、私が代表を務めさせていただいています。

避難後、各地を転々とする中で体調を崩し、精神的にも相当落ち込みました。根本的部分で癒されることはありませんが、子どもたちが職に就くなど、多少の安心感のようなものを感じられるようになりました。

東雲国家公務員住宅で生活する避難者有志の交流組織「東雲の会」副代表。この春、その中で富岡町民の分会として「東雲富岡の会」を発足し、その代表を務める。



# 友情と絆を いつまでも

## 富岡町小・中・高校 生「再会の集い」



富岡町教育委員会主催による小・中・高校生再会の集いが8月7日、郡山市のビッグパレットふくしまで行われ、県内外から参加した約540人が仲間との旧交を温めました。

開会式では宮本皓一町長が「富岡町を思いながら、それぞれの地でしっかりと頑張っていたら、いつの日か富岡町の復興のために皆さんの力を貸してくれることを願っています」とあいさつ。児童・生徒たちは、記念事業の「希望のサクラを咲かせようプロジェクト」に参加しながら久しぶりに会う友人たちと交流を深めていました。

愛知県から参加した横田大貴君(高校2年・富一中卒)は「友だちと会うのは震災以来初めて。避難先でも多くの友人が出来ました。やっぱり富岡時代の仲間といると一番安心できます」と笑顔を見せ、また、いわき市から子どもさんと参加した猪狩美也子さん(西原)は「再会の集いは、普段会えない親同士も会えるので、親子共々楽しみにしています」と語られました。

会場には、震災当時の小中学校の先生方も大勢駆け付け、成長した教え子の姿に目を細めながら、思い出話に花を咲かせていました。





優勝を決め喜びを爆発させる保木選手(左)ら男子チーム

## 福岡高校男子バドミントン部 悲願のインターハイ団体初優勝

全国高校総体(インターハイ)が8月7日から福岡県北九州市で行われ、福岡高校男子バドミントン部が学校対抗団体戦で初優勝を飾りました。

昨年準優勝の男子は、決勝で大会9連破を狙う埼玉栄高校と対戦。2勝2敗で迎えた最終シングルスで、主将の保木卓朗選手がファイナルゲームの熱戦を制し悲願の全国制覇を成し遂げました。さらに個人戦の男子ダブルスでも、保木選手と小林優吾選手のペアが福島県勢として2年ぶりの優勝を果たし、今大会二冠を達成しました。

昨年優勝の女子は、決勝で

青森山田高校に敗れ2連覇を逃したものの、選手数が少ない中でお互いをカバーし合い、来年に繋がる見事な戦いを見せました。また、大堀彩選手がシングルスで3位となり、高校生最後となる次回大会でのリベンジを誓っていました。

同バドミントン部の大堀均監督は「今回は生徒の成長を感じられる大会となり、男子はキャプテン保木を中心としたチーム力で優勝を勝ち取ることができた。また、女子は選手全員フル回転の試合となり、惜しくも連覇はならなかったが、1、2年生が多く



団体優勝の男子バドミントン部



団体準優勝の女子バドミントン部

※写真はすべて福島民報社提供

若いチームなので来年の巻き返しを狙う」と次を見据えながら大会を振り返りました。

### 大会を終えて

男子バドミントン部  
主将 保木卓朗選手

今回初めて団体優勝をすることができ、これまで支えていただいた富岡町の皆さんに感謝の気持ちでいっぱい입니다。この結果に満足せず、これからも日々精進していきたいと思えますので、今後とも応援をよろしくお願いします。

### 先輩から喜びの声

実業団J.R北海道  
内藤浩司選手  
(富岡高校一期生)

女子バドミントン部  
主将 太田麗菜選手

今回はチーム力を高めながら大会に臨みましたが、3年生は自分だけでしたが、頑張ってくれた後輩に感謝しています。結果は準優勝に終わりましたが、全員がひとつになつて戦うことができたので悔いはありません。

男子団体初優勝おめでとうございます。私たちの代から新生富岡高校がスタートして早8年となりましたが、原発事故による避難という厳しい状況乗り越え、先輩たちが成し得なかった団体優勝に輝いた姿を見て、とても感動しました。

これからも君たちを支えてくれる全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに、チームのキャッチフレーズである「MIND OVER BODY」を貫いてください。今後ますますの活躍に期待します。

## 真夏の青空の下で若い力が躍動 双葉郡町村対抗野球大会が3年ぶりに復活

双葉郡体育協会主催による第38回双葉郡町村対抗交流野球大会が7月28日、広野町総合グラウンドにおいて行われました。

この大会は双葉郡総合体育大会の前哨戦として長い歴史を誇り、今年3年ぶりに交流大会と銘打ち復活。開会式では双葉郡体育協会長の松本幸英榎葉町長が「避難生活が余儀なくされている中、全ての町村が参加するということ、大変意義のある大会となった。存分にプレーを楽しみ、選手同士の交流を図って

ほしい」とあいさつし、参加8チームによる熱戦の火ぶたが切られました。

富岡町は1回戦で双葉町、2回戦で広野町を破り決勝に進出。惜しくも浪江町に4-1で敗れたものの、9月に行われる第7回市町村対抗福島県軟式野球大会に向けて、チームに勢いが付く大会となりました。

一試合後、監督の桑原憲二さんは好ゲームを繰り広げた選手の皆さんをねぎらい「それぞれの避難先から集まり満足な練習が出来ない中、選手たち

- 大会結果は次のとおりです。
- 優勝 浪江町
  - 準優勝 富岡町
  - 第3位 榎葉町・広野町
- ちは素晴らしいプレーを見せてくれた。今回の野球をきっかけに双葉郡のスポーツが再び盛り上がれば、それも復興に向けての足がかりになる」と語られました。





## 「富岡町民生委員・児童委員 推薦会」 委嘱状交付式



推薦委員の委嘱を受ける三瓶一郎議員(右)

今年12月に行われる富岡町民生委員の一斉改選に向けて、民生委員候補者を推薦する委員への委嘱状交付式が7月19日、富岡町役場郡山事務所で行われました。

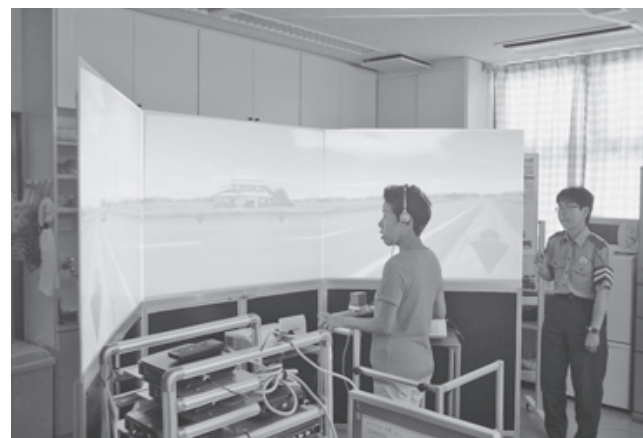
委嘱状を交付された「富岡町民生委員・児童委員推薦会」の委員は、町内の事業所、町議会、各種団体などから選出されたメンバー14人で構成され、この日の会議では、各地区における福祉活動の実績や経験年数等を踏まえ、民生委員並びに児童委員候補者33人が選考されました。

民生委員は平成25年12月から3年間の任期で、各地で避難生活が続ける住民の生活相談やケアにあたります。

## 避難先で事件や事故に遭わないために いわき市で安心・安全教室

いわき地区の借り上げ住宅居住者を対象とした安心・安全教室が8月7日、いわき市平交流サロンで行われました。

参加した皆さんは、いわき地方振興局による悪質商法・振込め詐欺の手口、対策に関する講話や、いわき中央警察署による実際に起きた事故の実例に基づいた交通安全講座に真剣な表情で聞き入り、また、福島県に1台しか無いという歩行環境シュミレーター装置「わたりじょうずくん」を使って、道路横断や事故に遭わないための心構えを学びました。



「わたりじょうずくん」による歩行シュミレーション

## 富岡第一中学校卒業生から寄付金をいただきました



寄付金を手渡す有志代表の大和田剛さん(右から3人目)

富岡第一中学校昭和43年卒業生有志の皆さんが過日、富岡町役場郡山事務所を訪れ、浄財を寄付されました。

同年卒業生の皆さんは、還暦祝いの同級会をスパリゾート・ハワイアンズで開催し、その際集まった会費の一部を富岡町の復興のためにと寄付されたものです。

ありがとうございました。

## 故 根本文雄 氏(元富岡町議会議員)に高齢者叙勲



叙勲の伝達を受けた根本行恵さん(中央)

元富岡町議会議員の故 根本文雄さんに高齢者叙勲(旭日単光章)が贈られ、7月29日に伝達式が行われました。

根本さんは、昭和55年から4期16年に渡り、富岡町議会議員として地方自治の進展と魅力ある地域社会づくりにご尽力されました。

今回の叙勲は根本さんの生前に発令され、ご本人に伝達の予定でしたが、スケジュールの調整中に急逝されたため、根本さんのご長男の妻である行恵さんに伝達が行われ、勲記と勲章が手渡されました。

## 富岡町婦人消防隊が活動再開 メンバーが救命救急法を受講

富岡町婦人消防隊による普通救命の講習会が7月28日、いわき四倉交流サロンで行われました。

この日は、いわき市内で避難生活を送るメンバー17人が参加し、双葉消防署員からAED(自動体外式除細動器)を使用しての救命救急法等を学び、修了認定を受けました。

同消防隊では三春、大玉、郡山各地区での普通救命講習会を予定しております。受講を希望される方は、副隊長の対馬さんまでお問い合わせください。

問合せ先 ☎090-5847-9088



AEDの操作方法を学ぶ隊員の皆さん

### 富岡町婦人消防隊より町民の皆さまへ

富岡町婦人消防隊は、少しでも町民の皆さまのお役に立てればとの思いで、試行錯誤しながら活動を続けています。“一体、何ができるのか”と問われると正直答えに迷ってしまいますが、富岡町を忘れず、笑顔で前向きに頑張っています。

私たちの元気な姿が皆さまの栄養剤になってくれれば幸いです。

富岡町婦人消防隊長 高橋美智子

◇富岡町婦人消防隊では、各地に避難されている隊員の皆さんと再会し、今後の活動について語り合うために、視察研修を実施いたします。参加を希望される方は、下記までお申込みください。

1. 期 日 平成25年10月20日(日)
2. 場 所 未定(いわき市、郡山市からバス乗車予定)
3. 参加費 3,000円
4. 申込先 富岡町役場郡山事務所生活環境課消防交通係



# 町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成25年8月12日(晴れ)~13日(晴れ)

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	8/12	3.12	5.28
2	上千里消防屯所	8/13	2.04	2.77
3	杉内消防屯所	8/13	2.40	3.57
4	第二工業団地入口	8/13	3.68	3.51
5	高津戸集会所	8/12	5.31	8.78
6	富岡第二中学校東側	8/12	2.10	2.53
7	新夜ノ森集会所	8/12	6.79	9.05
8	夜の森公園	8/12	3.20	6.87
9	松の前待避所	8/12	8.72	11.80
10	小良ヶ浜集会所	8/12	6.12	7.31
11	町境(小良ヶ浜地区)	8/12	7.45	9.72
12	深谷消防屯所	8/12	5.87	7.28
13	富岡町営野球場	8/13	1.00	0.72
14	観陽亭前	8/13	1.31	2.41
15	富岡合同庁舎西側	8/13	2.93	3.58
16	富岡養護学校	8/13	3.52	7.14
17	老人福祉センター	8/12	7.24	12.40
18	夜ノ森駅	8/12	6.63	7.63
19	王塚集会所	8/12	5.28	7.51
20	諏訪神社前	8/12	3.18	4.02
21	上本町消防屯所	8/12	3.46	4.44
22	上本町集会所	8/12	2.41	3.31
23	リベラルヒルズ入口	8/13	2.58	4.87
24	赤木集会所	8/13	2.14	4.54
25	上郡山集会所	8/13	1.96	2.51
26	太田集会所	8/13	1.18	1.68
27	原下消防屯所	8/12	1.33	1.95
28	富岡駅	8/13	0.83	1.93
29	清水消防屯所	8/13	2.04	3.03
30	役場	8/12	2.14	2.13
31	浄化センター	8/13	0.81	0.90
32	毛萱集会場	8/13	0.52	0.47
33	富岡保育所	8/13	2.10	3.65
34	中央児童館	8/12	2.77	3.67
35	栄町駐車場	8/13	1.87	3.03
36	岩井戸消防屯所	8/13	1.73	2.33

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
37	小浜住宅団地内公園前	8/13	3.73	6.76
38	双葉環境センター	8/13	2.21	5.59
39	NHK電波塔入口(浜街道)	8/13	3.96	5.57
40	深谷集会所	8/12	5.70	6.18
41	赤坂神社前	8/12	6.40	8.13
42	太平洋フリーディング前	8/12	11.90	19.60
43	みよし前交差点	8/12	9.75	23.30
44	富岡自動車学校前	8/12	6.54	12.70
45	リフレ富岡	8/12	4.11	5.72
46	東洋育成園前	8/13	4.57	6.91
47	富岡インター駐車場	8/13	3.98	5.51
48	上手岡児童館	8/12	2.91	3.93
49	下千里ライスセンター前	8/12	2.97	5.91
50	鶴山荘前	8/12	3.79	5.44
51	夜の森つつみ公園	8/12	4.89	4.92
52	総合運動場東側駐車場	8/12	4.99	7.99
53	華の樹前	8/12	5.94	7.98
54	宝泉寺前	8/12	3.43	6.61
55	国道6号第二原発入口前	8/13	1.28	2.01
56	猪狩スタンド前	8/13	1.41	2.73
57	なべや駐車場前	8/12	1.31	2.46
58	大東銀行富岡支店前	8/12	2.39	3.18
59	富岡漁港	8/13	0.51	0.56
60	サンライズイン富岡前	8/13	1.01	1.33
61	福島富岡簡易裁判所前	8/13	2.57	8.13
62	ヨークベニマル富岡店前	8/13	2.24	4.16
63	今村病院前	8/12	4.81	8.06
64	福島銀行富岡支店前	8/12	2.16	4.01
65	龍台寺前	8/13	2.28	4.61
66	清水団地前	8/13	2.39	3.70
67	猪狩電気通信工業前	8/13	2.46	3.58
68	上郡消防屯所	8/13	2.49	3.75
69	岩井戸鉱泉	8/13	1.32	1.88
70	富岡工業団地	8/13	1.72	1.91
71	成沢の滝入口	8/13	1.37	2.28
72	沼名子橋	8/12	2.70	4.11

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

## 三春の里に響き渡る相馬盆唄 小浜盆踊りと小浜風童太鼓が復活



大きな輪が広がった盆踊り



聴衆を魅了した小浜風童太鼓

久しぶりに集まったメンバーとともに演奏した榎内代表は、「津波で太鼓が全て流され一時は活動を諦めたが、多くの方々からご支援をいただき再開できた」と感謝の言葉を述べられ、以前コンテストで高い評価を得たオリジナル曲を演奏。会場内に勇壮な音が響き渡り、聴衆からは温かい拍手が送られました。

三春町熊耳応急仮設住宅自治会主催による熊耳夏祭り復興盆踊りが8月10日、同仮設住宅敷地内で行われました。

この盆踊りは、富岡町小浜行政区長でもある同自治会の松本政喜会長が、小浜青年会のメンバーから地区の伝統行事であった盆踊り祭りを再開したいと相談を持ちかけられ、「祭りを通して若者たちの心意気を感じてほしい」との気持ちで企画し、同青年会や自治会、さらには地元熊耳地区の協力を得て、手作りの夏祭りとして開催されたものです。

会場には多くの富岡町民や近隣住民が訪れ、相馬盆唄と三春盆唄を共に踊りながら交流を深めていました。

また、震災時の津波で太鼓一式が流失し活動を休止していた「小浜風童太鼓」(榎内正和代表)が、過日宝くじの収益によるコミュニティ助成事業から太鼓の寄贈を受け、多くの聴衆を前に力強い演奏を披露しました。



寄贈を受けた太鼓

## 富岡町ナインにご声援ください! 「第7回市町村対抗福島県軟式野球大会」が9月8日に開幕



3回戦進出を果たした第6回大会

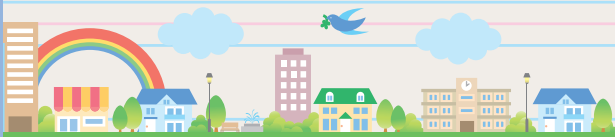
県内59市町村が出場し熱戦を繰り広げる「第7回市町村対抗福島県軟式野球大会」が9月8日、福島市のあづま球場で開幕します。

富岡町の初戦は9月15日午前8時プレールールの第一試合、対南相馬市戦で、昨年以上の成績をめざしチーム一丸となって大会に臨みます。

皆さまのご声援をよろしくお願いいたします。

財団法人富岡町体育協会





## 「ちぎり絵に四季折々の移ろいを」



郡山市緑ヶ丘応急仮設住宅集会室で週2回開かれている「ちぎり絵教室」。講師の横田シゲ子さん(前列左から2人目)が、避難後部屋に閉じこもり気味になっていた皆さんに声をかけて始めたものです。

現在、教室生は12人。ほとんどが初心者とのことですが、それを感じさせない素晴らしい出来栄です。「いつか富岡の自宅に作品を飾りたい…」そんな思いを抱きながら製作に励んでいます。また、作品づくりだけではなくお茶を飲みながらのおしゃべりも楽しみのひとつ。仮設住宅にいる方も、借上げ住宅にいる方も、皆さんと楽しい時間を過ごしてみませんか？

問い合わせ先 横田シゲ子さん ☎ 080-6054-0648

## あなたが撮った写真をお寄せください

### ◇写真撮影対象

現在お住まいになられている地域の自然や風景、祭りなどテーマは問いません。  
※人物(個人)が特定できる写真の場合は必ずその方の了承を得てご応募ください。

### ◇応募要件

- ① スチールカメラ又はデジタルカメラ等で撮影し、ピントが合っている写真。
- ② データの場合はメールに添付できるサイズ、プリント写真は写真専用の用紙に印刷されたもので、大きさはL版か2L版。
- ③ 富岡町民で、氏名、現在お住まいの市町村名、富岡町の行政区名を掲載できる方。
- ④ 写真のタイトルと説明文(150字程度)を添付してください。

### ◇応募方法

現在お住まいの住所、氏名、富岡町での行政区名、電話番号をご記入の上、データの場合は下記アドレスへメールで、郵送の場合は封書で下記までお送りください。

- ・メールアドレス  
[tomioka.machi@gmail.com](mailto:tomioka.machi@gmail.com)
- ・住所  
〒963-0201  
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5  
富岡町役場郡山事務所内  
企画課情報統計係

※応募された写真は返却できません。また応募が多数の場合は選考のうえ掲載させていただきますので、あらかじめご了承ください。

### 今月の表紙：「心に響き渡る小浜風童太鼓」

震災前、小浜地区を中心に活動していた小浜風童太鼓。原発事故以来初めてメンバーが集まり、三春町熊耳応急仮設住宅敷地内で行われた小浜盆踊りで力強い演奏を披露しました。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。